

2019年度日本海洋学会春季評議員会議事録

日時:2019年5月26日(日)18:15-20:30

場所:幕張メッセ国際会議場(103)

出席者:神田会長、伊藤(進)副会長、宗林監査、日比谷監査、相木、秋友、安藤、石井、石坂、市川、植原、植松、江淵、大島、小埜、郭、川合(美)、川合(義)、河宮、北出、轡田、根田、齊藤、須賀、鈴村、武田、張、津田、東塚、中村、西岡、升本、道田、見延、森本、安田(一)、安田(珠)、山中、安中、吉川各評議員(40名)

松野沿岸海洋研究会会長・西南支部支部長、梅澤海洋環境問題研究会会長、田村ブレイクスルー研究会会長、乙坂幹事、帰山幹事、高橋幹事、西部幹事、三角幹事、吉田海の研究編集委員長、毎日学術フォーラム(平坂)

委任状:磯辺、岩坂、岡、久保川、杉崎、多田、中野、羽角、花輪、原田、広瀬、本多、寄高各評議員(13名)

開会に先立ち、北出集会担当幹事より、出席者50名、委任状13通で評議員会細則第3条の規定による評議員会の成立要件を満たしている旨報告があった。

1. 会長挨拶(神田会長)

評議員会開催に先立ち、神田会長より挨拶があった。堀部純男名誉会員、Wallace S. Broecker 教授がご逝去されたことが報告され、哀悼の意が示された。東塚知己会員が西田賞を受賞する件が報告された。川幡徳高会員が文部科学大臣表彰科学技術賞(研究部門)を、鶴田忠彦会員が文部科学大臣表彰科学技術賞(開発部門)を、白井厚太郎会員が文部科学大臣表彰若手科学者賞を受賞した件が報告された。研究発表大会におけるセッション制や海洋生物学研究会など日比谷前会長が行った改革を着実に推進するとともに、必要な点について改善を行っていくことが述べられた。海洋分野での若手研究者の確保、海洋研究を実施する上でのインフラの確保、学会運営の安定化を柱として学会運営を行っていくことが述べられた。

2. 報告事項

1) 会務報告

庶務(乙坂幹事)

会員異動状況について報告があった。

編集

① JO(江淵編集委員長)

発行状況、投稿・受理状況、編集委員の交代、懸案事項について報告があった。現在、生物系の海外編集委員がいないため推薦の依頼があった。

② 海の研究(吉田編集委員長)

活動方針、2018 年度出版実績、2019 年度出版計画、論文の投稿状況、委員(継続・交代)、J-STAGE での公開、掲載論文のオンライン公開について報告があった。

③ JOS ニュースレター(安藤編集委員長)

2018 年度の発行状況、2019 年度の発行計画、編集委員について報告があった。

研究発表(西部幹事)

2018 年度に開催した大会ならびに 2019～2021 年度の春の大会までの予定について報告があった。また、2021 年度の秋の大会が 80 周年記念大会として実施される予定であることが報告された。

賞選考

① 学会賞・岡田賞・宇田賞(大島前委員長)

選考過程および選考結果について報告があった。

② 日高論文賞、奨励論文賞(小畑前委員長代理 西岡前委員)

選考過程および選考結果について報告があった。

③ 環境科学賞(張前委員長)

選考過程および選考結果について報告があった。

選挙管理(安田幹事)

各賞可否投票および各種選考委員選挙の結果について報告があった。

広報委員会(安中委員長)

科学技術館の「海の企画展」への協力、「海の出前授業」の活動状況、JpGU ブースでの各種広報活動、2019 年度秋季大会での広報活動計画について報告があった。

海洋環境委員会(梅澤委員長)

2018 年度青い海助成事業の助成について報告があった。2019 年度の青い海助成事業の応募状況と、緊急対応型について募集中であることについて報告があった。2019 年度の委員の委嘱について報告があり、本委員会が災害対応窓口の一つであることから地域性や専門性等を考慮して人選が行われたことが報告された。

海洋観測ガイドライン編集委員会(乙坂委員長)

2018 年度に和文第 4 版、英文第 3 版を出版したことが報告された。2019 年度の編集委員への引継ぎが行われたことが報告された。

西南支部(松野西南支部支部長)

2018 年 12 月 10 日に水産大学校にて日本海洋学会西南支部・水産海洋学会合同シンポジウム「日本海研究の現状と今後について」が行われたことが報告された。2019 年度もシンポジウムを実施予定であることが報告された。

海洋環境問題研究会(梅澤研究会会長)

2018 年度秋季大会会期中に総会とシンポジウムを開催したこと、研究会会則の変更があったことが報告された。2019 年度 JpGU 期間中に研究会総会を実施すること、「海洋と生物」において東京湾特集号を出版することなどが報告された。

沿岸海洋研究会(松野研究会長)

2018 年度の沿岸海洋研究の発行状況について報告があった。2019 年度秋季大会でシンポジウム「変わりゆく海、沿岸環境域への温暖化影響」を行うことが報告された。

海洋生物学研究会(西部幹事)

2019 年 3 月 23-24 日に「海洋生物シンポジウム 2019」を開催したことが報告された。2019 年度も開催することが運営委員会で決定したことが報告された。田所和明運営委員を副会長に選出したことが報告された。

教育問題研究会(須賀研究会会長)

研究会の登録会員数が 44 名で増減がないことが報告された。2018 年度活動報告および 2019 年度活動計画が報告された。

ブレークスルー研究会(田村研究会会長)

2018 年度に実施したクラウドファンディングによる次世代育成のための研修プログラムについて報告があった。2019 年度計画として、クラウドファンディングプロジェクト報告会、秋季大会で実施予定のナイトセッション、シンポジウムについて報告があった。ナイトセッションの副題に資金提供の団体の具体名を入れるべきかに関して質疑があった。

2) 学界動向(伊藤副会長)

学界関連情報について報告があった。詳細については、JOS ニュースレターに掲載される。

日本地球惑星科学連合(川合幹事)

2019 年度 JpGU 大会について報告があった。JpGU の学会誌 PEPS の出版に関して科学研究費研究成果公開促進費が採択されたこと、JpGU における研究不正への取り組みが報告さ

れた。JpGU 大会のセッションにおける発表言語の区分に関して質疑があった。

水産・海洋科学研究連絡協議会(北出幹事)

令和元年度第一回水産・海洋科学研究連絡協議会が 2019 年 5 月 30 日に開催予定であることが報告された。

3) その他

若手海外渡航援助の審査状況について報告があった。

3. 審議事項

1) 教育問題研究会の会長交代について(乙坂幹事)

教育問題研究会の会長の委嘱について承認された。

2) 賞選考委員委嘱について(神田会長)

三賞、論文賞および環境科学賞の選考委員について、半数改選の結果をへて三賞選考委員 5 名、論文賞選考委員 3 名、環境科学賞選考委員 3 名への委嘱が承認された。委員の各専門分野を検討のうえ、三賞選考委員に関して 1 名の追加委嘱が承認された。

3) 2018 年度事業報告並びに決算報告について(乙坂幹事・安田幹事)

2018 年度事業報告並びに決算報告について説明された。

4) 2018 年度監査報告について(植松前監査)

監査報告を踏まえ、2018 年度事業報告、決算報告、監査報告が承認された。

5) 2019 年度事業計画並びに予算案について(乙坂幹事・安田幹事)

2019 年度事業計画並びに予算案が承認された。

6) 日本海洋学会細則の変更について(乙坂幹事)

日本海洋学会選挙細則の変更について提案され、承認された。

7) 受賞記念講演座長について(乙坂幹事)

受賞記念講演座長について提案され、承認された。

8) 2019 年度通常総会議事次第案について(乙坂幹事)

2019 年度通常総会議事次第案を確認し、承認された。

以上